

1. 目的 東京都内高等学校女子サッカーの健全なる普及と振興・発展を目的とする。
2. 名称 令和 5 年度 第 32 回全日本高等学校女子サッカー選手権大会東京予選
3. 主催 東京都高等学校体育連盟・(公財) 東京都サッカー協会
4. 主管 東京都高等学校体育連盟サッカー専門部女子部・東京都女子サッカー連盟
5. 期日 令和 5 年 8 月 21 日～9 月 24 日 (予定)
6. 会場 駒沢オリンピック公園、南豊ヶ丘フィールド、他
7. 参加資格
  - (1) 令和 5 年度に (公財) 日本サッカー協会女子連盟に加盟登録した単独の都内高等学校チームであること。  
**★参加選手は令和 5 年 6 月現在、参加する高等学校の生徒であること**
  - (2) (1) に加え、他チームに二重登録されていないこと。
  - (3) 各チームに必ず引率者がつくこと。教職員 (顧問) の引率が義務。  
教職員でないスタッフのみの引率は認めない。(但し、学校長の委任状があればよい。)
  - (4) 各チームは必ず審判 (有資格者) を帯同すること。
  - (5) 2004 年 (平成 16 年 4 月 2 日) ～2008 年 (平成 20 年 4 月 1 日) に生まれた選手であること。  
< 15 歳～19 歳 同一学年で 2 年連続出場することはできない。 >
8. 競技方法
  - (1) トーナメント方式 (3 位決定戦有り)
  - (2) 令和 5 年度 第 24 回東京都高等学校総合体育大会女子サッカー競技の結果を踏まえ、ベスト 4 校をシード扱いとする。
  - (3) 試合時間
    - ・ 1 回戦から 3 回戦…35 分ハーフ、ハーフタイム 10 分、延長なし PK
    - ・ 準々決勝…40 分ハーフ、ハーフタイム 10 分、延長なし PK
    - ・ 準決勝、決勝、3 決…40 分ハーフ、ハーフタイム 10 分、延長 20 分、PK
9. 競技規則
  - (1) 日本サッカー協会「競技規則 2023/2024」による。(試合球はモルテン・ヴァンタジジオを使用する。)
  - (2) 各試合の引率選手は最大で 26 名 (先発選手 11 名 + 交代要員 15 名) までとし、交代要員から 5 人まで主審の許可を得て交代することができる。**なお、再交代は禁止とする。**
  - (3) 当日の観客動員については各学校会場の指示に従うこととする。有観客での開催となる場合はライブ配信を禁止とする。
  - (4) チームスタッフ (引率者、コーチ、マネージャー、撮影スタッフ等) の動員はその人数を問わない。ただしベンチ入りできるスタッフは 5 名までとする。動員に制限のある会場については、会場の指示に従うこと。
  - (5) 本大会において退場を命じられた選手 (または警告を 2 回受けたもの) は、次の 1 試合に出場できず、その後の処置については、大会の規律委員会で決定する。  
**【規律委員会…床爪克至・梅原聖和・坂田洋介・中野進治・原山和也・後藤和也・小尾敏明】**
  - (6) 競技中に落雷の予兆があった場合、またその他の理由により、審判員又は大会本部の判断により試合を中止する場合がある。なお、試合の再開方法・結果などについては、要項の別紙を参考する。別紙に当てはまらない理由については、大会規定に関わらず、大会本部にて決定する。飲水タイム、クーリングブレイクタイムの有無については、キックオフ前および後半開始時に、会場責任者と主審の判断により決定すること。

- (7) メンバー用紙を提出後から試合開始前まで（ウォーミングアップ中など）に、先発選手に怪我、体調不良が起こりその選手を変更したい場合、交代枠を減らさずに先発選手を変更することができる。ただし、変更した選手は交代要員としてベンチに入ることはできない。
- (8) 合同チームの出場を認める。別紙【合同チームガイドライン】を参照。

#### 10. 参加申込

6月28日（水）15:00 までに「グーグルフォーム」に回答する形で行う。参加申込書は抽選会時に提出すること。  
大会参加費 10,000 円

**★振込期限：令和5年7月6日（木）**

#### 11. 組み合わせ抽選会・代表者会議

令和5年7月7日（金）18:00～ 東京都立王子総合高等学校（予定）

※顧問が必ず出席すること。代理人が出席する場合は、チームの決定権者であること。

※抽選会のみ、各チーム1名まで生徒の参加を認める。

#### 13. 表彰

- ・表彰状を授与する
- ・上位大会への推薦

- ① 優勝チーム・2位のチームは第32回関東高等学校女子サッカー選手権大会（兼）第32回全日本高等学校女子サッカー選手権大会関東予選に推薦される。
- ② 3位・4位のチームは第19回関東高校女子サッカー秋季大会に推薦される。

#### 14. ユニフォーム

- (1) ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）は、正の他に副としていずれも正と異なる色のユニフォームを携行すること。
- (2) ゴールキーパーについてはフィールドプレイヤーと異なる色を用意すること。また、いずれも審判と同一色または類似色の上衣（黒・単色濃紺）を着用することはできない。
- (3) アンダーシャツは各袖の主たる色と同じ色で1色または、シャツの各袖とまったく同じ色の柄にする。アンダーショーツおよびタイツは、ショーツの主たる色、またはショーツの裾の部分と同じ色でなければならない。同一チームの競技者が着用する場合、同色のものとする。
- (4) 番号は1番から30番までの番号とする。
- (5) 縞のユニフォームは30cm四方の台地に背番号を10cm四方の台地に胸番号をつけること。
- (6) 胸番号はあることが望ましい。（関東大会以上は必須）
- (7) 参加申込書提出後のユニフォームの色の変更は認めない。

#### 15. その他

- (1) 試合中およびそれに関する事故への対応は各チームの責任において行う。スポーツ振興センター「災害給付金」、スポーツ傷害保険に加入することが望ましい。
- (2) スポーツマンシップに反する行為は厳に慎み、女子サッカーの品位を高めるよう努めること。
- (3) 下記の場合は不戦敗となる。
  - ・キックオフ時刻から10分を過ぎてもグラウンドに選手がそろわない時。（7名未満）
  - ・引率者がいない時。
- (4) 交代要員は競技者と区別のできるビブスを着用すること。
- (5) 審判について
  - ・審判は各校の帯同審判員が担当する。（準決勝より高体連派遣（予定））

- ・各校必ず審判員（有資格者）を2名以上帯同すること。（うち1名は成人、高校生でない者とする）
- ・審判は審判服（シャツ・ショーツ・ソックス、色調は黒）を着用すること。
- ・全試合第4審判を割り当てる。（第4審判も審判服を着用すること）

(6) 試合開始前について

①試合開始**60分前**を目安に、メンバー用紙3部と令和5年度選手証(KICKOFFから出力できる写真付きのものを印刷したもの)を本部に提出すること。写真のないものは無効とする。

※ メンバー用紙の選手の順序と選手証の順序は同じにしておくこと。

また、メンバー用紙に記載がある選手のみ提出すること。

※ 選手証を印刷したものがない場合、電子選手証で確認がとれれば出場を可とするが、これは非常時の手段であり、原則としては印刷したものを必ず用意すること。

※ **試合時に提出したメンバー表・交代用紙は、原則各チームに返却する。**

**(本部が回収するものは記録用紙、審判報告書の2種のみ)**

②試合開始**5分前**を目安に、メンバーチェックを受けること。**ただし、業者による写真撮影が入る場合等は早めのメンバーチェックとなる場合がある。**

③準決勝より、試合開始80分前にMCMを実施する。

16. 大会事務局

東京都立杉並総合高等学校 梅原聖和

東京都立王子総合高等学校 原山和也

#### 荒天・落雷についての対応

- ① 会場責任者および主審の判断で試合開始時刻の遅延、試合中の中断を決定する。
- ② 試合開始時刻から60分（目安）、又は中断から30分（目安）以上経過しても、回復が見込めないか安全が確認できない場合は、試合を中止する。  
中止後の流れ…試合時間のおおよそ3分の2以上（後半10分～15分）が過ぎていればその試合は成立させ、残りの試合時間の分の延期はしない。ただし、ベスト8以上（予選トーナメントの決勝以降）については、残りの試合時間の分も最後まで実施をする。  
中断後に延期、再試合となった場合は残り試合時間を行う。記録（選手・スコア・警告・退場等）は、中断時点から引き続きとする。尚、選手の交代は中断時のメンバー表に基づき、交代を認める。（中断時・再試合・再開後合わせて交代人数5人まで）
- ③ 中断後に状況が回復し残り試合が可能と判断した場合、原則は中断した試合を優先的に進める。状況により会場責任者、審判団、該当チームで優先する試合を決定する。
- ④ 引き分け時の勝敗を決めるためのペナルティーキック途中の中止は抽選（コイントス）を行い、次回進出校を決定する。
- ⑤ 主審は、中断時の状況を「試合中断・延期に関わる報告書」に記録する。
- ⑥ 中止となった試合以降の当該チーム、審判団等へ順延の連絡をする。
- ⑦ 委員長および事務局へ報告する。

#### 熱中症対策について

- ① 原則、JFAの熱中症ガイドラインに沿って試合を行う。
- ② WBGT=31℃を目安とし、会場責任者、審判団、該当チームで試合の実施、中止、遅延の判断をする。
- ③ ガイドラインに沿って、飲水タイム、クーリングブレイクを設定する。（クーリングブレイクの時間を延ばす等の措置も可能とする）

#### 会場責任者の分担について

会場校は教職員及びチームスタッフを2名以上配置すること。

（1名のみで試合に該当した場合、会場責任業務等に対応できなくなるため）